

NEWS

「東京国際キルトフェスティバル - 布と針と糸の祭典 - 2011」に出展いたしました。

当社は、1月21日（金）から29日（土）の9日間に亘り、東京ドームで開催された「東京国際キルトフェスティバル - 布と針と糸の祭典 - 2011」に出展いたしました。本展示会は、今年で開催10周年を迎えた世界最大級のキルトショーで、開催期間中、延べ25万人の方が来場されました。会場では、国内外のキルト愛好家による素晴らしい作品が展示され、布やキルト素材を扱うブース販売や著名人によるトークショーなども開かれるなど、大変にぎやかな展示会となりました。



会場の様子



会場の様子

当社ブースでは、期間中に発売を開始したセシオ11500SE、elnaエクセレンス740をはじめ、最新型のミシンであるハイパークラフト12000、メモリークラフト7700 - HORIZONを使用したミシン刺しゅうや、ミシンのテクニック、アクセサリーのデモンストレーションを行いました。



蛇の目ミシンのブース



最新機種のデモンストレーション

ミニ教室コーナーでは、著名キルト作家の櫻井紀子先生と指吸快子先生によるソーイング教室を開講しました。両先生の教室は大変人気が高く、多くのお客様が受講されました。



櫻井先生の教室作品



指吸先生の教室作品



ミニ教室の様子

今年は、当社が創立90周年にあたることから、ブース内に、90年間のファッションモードの変遷をテーマとしたキルト作品と、1948年（昭和23年）に発売し大ヒットした足踏みミシン「HA-1」の展示を行いました。



90周年記念コーナー



90年のファッションモードを題材としたキルト作品

会期中は、当社ブースへ多くの方にお越しいただきました。当社では、引き続き魅力的な製品・ソフトをご提供し、キルト愛好家の方をはじめ、ミシンユーザーを応援してまいります。